



無所属 川目 武彦 18
胃がん予防としての検査

問胃がん予防としてピロリ菌検査が有効だと考えられているが、なぜ川越市ではピロリ菌検査を行っていないのか。

答奨しないとされているので、ピロリ菌検査は、胃がん検診としては勧められていない状況である。ただし、今後の研究成果によって、将来的に判定を変更する可能性があると考えられているので、国の動向を注視していきたいと考えている。

答保健医療部長 国立がん研究センターの有効性評価に基づく胃がん検診ガイドライン2014年度版によると、胃がんのヘリコバクターピロリ抗体検査については、対策型検診としての実施は推

問がん予防のピロリ検査



日本共産党 川口 知子 19
サッカーグラウンド整備を

問スポーツ団体等からサッカー大会が開催できる場所が河川敷しかないという。今後、河川敷以外のグラウンド整備の考えについて伺う。

答河川敷グラウンドが台風などにより被害を受けると復旧までの期間、サッカーコートが不足する状況になることは認識している。今後可能な範囲で市民の要望に応えられるよう努めていきたいと考えている。

答都市計画部長 河川敷以外のサッカーコートは、川越運動公園や芳野台グラウンドがあり、スポーツ少年団をはじめとしたスポーツ関係の各種団体も利用している。一方で、

問安全に学べる学校施設
問地域スポーツの振興



日本共産党 池浜 あけみ 20
教職員のゆとりある働き方

問小学校の英語教科化や変形労働時間制導入を前に教職員は多忙を極めている。ゆとりある働き方を保障するために教育委員会はどう支援するのか。

答校業務全体を見直し、教職員の負担軽減や業務改善に取り組みとともに、教職員が子どもたちと向き合う業務に集中できるように支援していく。また、

答教育長 教職員のゆとりは、教職員自らの生活の質を豊かにし、人間性や創造性を高め、効果的な教育活動に結び付けていくものと考えている。教育委員会が主体となって学

問教職員の働き方
問投票率向上の取り組み



日本共産党 今野 英子 21
こども医療費18歳へ拡大を

問現在15歳までのこども医療費の助成対象を18歳まで拡大するべきだと考えるが、市長の見解を伺う。

答やかな成長のため、子育て支援を充実させるとともに、子どもを産み育てやすい社会をつくることは、本市の重要な施策の一つであるが、こども医療費の助成対象を充実することについては、市の財政状況や他の子育て支援施策等を勘案し、慎重に検討していきたい。

答市長 本市はこれまで、子どもの保健の向上と児童福祉の増進を図るとともに、子育て世帯の経済的負担を軽減するため、こども医療費の支給対象年齢を拡大してきた。将来を担う子どもたちの健

問子育て施策の充実を
問子どものSNS等影響



日本共産党 長田 雅基 22
職員制度切替をスムーズに

問正規職員と会計年度任用職員となった学童保育指導員について、多忙な4月1日に保育に支障がないよう、制度のスムーズな切り替えは可能か。

答関係の構築が築けていない状態で、1年の中でも大変な時期であると認識している。スムーズな保育が行われるよう引き継ぎ期間を設けており、

答教育総務部長 4月1日は、学童保育指導員の異動があり新たな学童保育室での勤務となる。新1年生は、学童保育室での保育が初めての経験であり、子どもの特性や信

問学童保育事業の拡充を
問楽しむスポーツ振興



清令会 矢部 節 23
新野球場建設の条件は何か

問現時点で具体的な検討はしていないとのことであるが、想定としてはどのような新球場を造ろうと考えているのか。

答場等の付帯施設は、現初雁公園の大会時の運営状態を見ても、ある方が望ましいと考えられる。ナイター設備も、現初雁公園と同様に、市民に利用してもらうためには、必要と考えられる施設であると想定している。

答都市計画部長 今後具体的に検討していく場合の想定としては、グラウンドの規模や収容人員は、県内の他野球場や運営の内容等も考慮することになると考えられる。サブグラウンドや駐車

問市の優先すべき施策は
問新野球場建設の条件は